

# アカデミック・サポートセンターニュース

第10号 2013年12月

【御礼】2013年10月をもちまして、アカデミック・サポートセンター(ASC)は設立3周年を迎えました。日頃より皆様の厚いご支援をいただき、ありがとうございます。今後ともご指導・ご鞭撻の程よろしくお願いたします。

本紙第10号では、2013年度開始の新規イベントを中心に、第2学期の学習支援や進路相談の様子をお伝えします。

## アカサポ学習支援がパワーアップ!!

～学習サポート室がさらに充実～

創立3周年を迎えたアカサポの学習サポート室(E211)がバージョンアップしました。天井からは「世界一美しい周期表ポスター」(仮説社)と「グローバル世界全図」(グローバルプランニング)が吊り下げられ、新設の本棚には「Newton」や「日経サイエンス」等の雑誌類のみならず数々の図鑑や事典が並べ



巨大周期表が学習サポート室に登場

られています。自習に役立つだけでなく、休憩時間に眺めることで教養が深められます。さらに自習スペースが拡張され、収容可能人数が1.5倍となりました。



新着の図鑑類

の英語コミュニケーション」と「物理学初級ゼミ」は、2学期も継続・拡大中です。「英語コミュニケーション」は留学生チューターによる週2回の通常開催に加え、新渡戸カレッジ共催の「英語コミュニケーション with Konishi 先生」を企画しています(12月18日、20日開催予定)。アメリカやロシアでの在住経験もあり、現在はイギリス・オックスフォード大の先生である小西

が配置されず化学の質問への対応が課題となっていました。これにより、試験期の混雑が、今学期は化学担当チューターが十分に配置され、化学の質問の大幅な増加が見られました。現在12人が担当しているチューターの中にはチューター歴が2年を超える者もあり、着実に経験を増やしながら質問対応に磨きをかけています。

～学習支援イベント好調～

今年度一学期に新しく登場した2つの学習支援イベント

～化学担当チューター増員～

昨年度2学期には(期末試験期を除いて)化学担当チューターが十分に配置され、化学の質問の大幅な増加が見られました。現在12人が担当しているチューターの中にはチューター歴が2年を超える者もあり、着実に経験を増やしながら質問対応に磨きをかけています。

～スタッフから一言～

アカサポではよりいっそう支援体制を整えておりますので、教職員の皆様におかれましては、学生に対し利用を促して頂きますようお願い致します。



2学期中間試験期の様子

## ～ スタッフの心象 第3回「秋の終わりによくある光景」～

このコーナーではアカサポに寄せられる進路・修学・学習相談の内容を元に、相談現場の様子をお伝えします。

札幌は秋から冬へと季節が進み、人も町もめまぐるしく衣替える。学内外では様々なイベントが開催され、学生の目はそちらの方に向きがちだ。各々、学生生活におけるリズムが定着しつつあるこの時期は、進路や履修の相談も一息つき、学習サポート室には穏やかな時間が流れる。

外は寒暖の差が徐々に大きくなる一方で、内にも確かな“温度差”が存在する。学生の集中度の差である。2学期のはじめには、履修についての相談も多く、今学期の履修計画に学生の真剣な思いを感じる。学習サポートの通うリピーターも多く見られ、春と比べて知性が磨かれていることを明らかに感じさせる者も少なくない。その一方で、一学期にはあったはずの目の輝きを失ってしまった者や自習室で秋眠を楽しむ

者が目につくようになる。勉強はしようとしているのだが、どうも頭がついて行っていないらしい。スタッフは、この時期が来年以降の進路を左右する重大な時期だと知っており、日頃の対応やさまざまなイベントに力を入れるのだが、それでも机で微睡む学生を前に「どうしたものか」と思ってしまう。これも晩秋頃の風物詩か。しかしながら、学業そっちのけで本州から来ていた宗教サークルの面々と熱く人生論を戦わせていた筆者の一年生時よりはマシだろうか。





アカサポ・コラムはASCスタッフの生の声をお届けします。第6回は、センター長の川端先生のコラムを掲載します。

## 「センターニュース10号にあたって」

川端 潤

アカデミック・サポートセンター長  
農学研究院 教授



早いものでアカデミック・サポートセンター(ASC)は正式発足から丸3年、前身の推進室時代をいれると4年が経過し、今では初年次学生支援の中心的組織としてなくてはならない存在となりました。このセンターニュースも10号に到達しました。私は設立まもなく推進室長をお引き受けして以来、現在までずっとセンター長を務めています。アカデミック・サポートセンター長というと、〇〇研究室教授などというよりもはるかに立派な要職のように聞こえますが、実態は常勤教員配置のないASCという組織運営をスムーズに行うための連絡係として配置されているだけであり、実際の業務遂行はすべて6人のスタッフ(特定専門職員)によって行われています。

スタッフは年限付雇用なので発足当初からはすでにほとんどの方が入れ替わり、これまでにのべ13人

(日吉, 多田, 山畑, 清水, 浅賀, 吉田(以上現員), 前田, 斉藤, 大沼, 宮本, 竹山, 岡墻, 柴田(以上退任者))が働いてくれています。いずれも博士課程修了者です。彼ら若いスタッフは学生に近い目線で共に考える親身な対応が持ち味であり、学生の絶大な支持を得ていることは、たとえば学習サポート等の高い満足度やリピート率にあらわれています。彼らの日々の献身こそが、まさにASCがここまで成長できた最大の要因の一つであることは間違いありません。もともとASCのスタッフ任用は博士課程修了者の受け皿としての意味合いもあって始まったと聞いています。私は13人全員とかかわってきましたが、みなすぐれた知識と人間性をあわせもち、どこに職を得ても十二分にやっていける力をもった人たちばかりです。こんなに優秀な人材が博士課程修了後に定職に就けないでいたというのは

不思議でなりません。

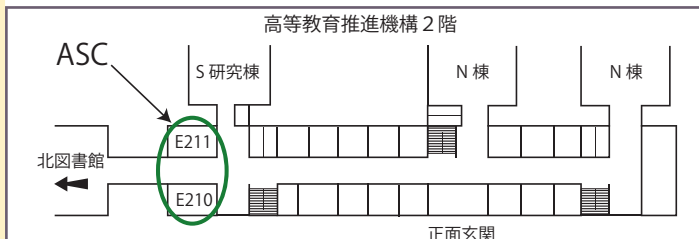
残念ながら来年度からは人件費抑制、業務効率化によりスタッフが4名に減らされることが決定しています。これだけの重要な任務を担っている部署が減員されるのは大きな痛手ではありますが、いずれも能力のあるスタッフのこと、なんとかやりくりしてこれまで通りの業務を行ってもらえるものと確信しています。また、歴代アカデミック・アドバイザーの望月, 板垣, 八若, 大畑, 角先生をはじめとする関連の諸先生方、必要な連絡調整や相談に乗っていただいている現奴賀係長, 岡林室長, 前任の折田, 近藤さん他、教務課総合教育担当の皆さん、事務補助員の郷さん, 前任の菊池さん, そして多くの院生チューターの皆さんのご助力なしにはASCの4年はありえません。10号の節目にあたって感謝申し上げます。

## これからの進級・移行関連イベントのスケジュール

- 2月 4日(火) : 全学教育第2学期授業終了
- 2月 5日(水) : 学部・学科等移行ガイダンス
- 2月 6日(木) : 学部・学科等紹介【ASC進路相談会】
- 2月28日(金) : 全学教育科目成績確定

総合入試入学者の学部・学科等移行手続き

\*上記スケジュールと並行して学部別入試入学者の学科等分属手続きが行われます



## アカデミック・サポートセンター

〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目  
北海道大学 高等教育推進機構 2階  
E210(相談) / E211(学習サポート)

T E L 011-706-7526

E-mail asc@high.hokudai.ac.jp

U R L http://asc.high.hokudai.ac.jp/



2013年12月2日発行